

アクセス方法  
 <電車>  
 上り常磐線土浦駅から上りバス関東東・江戸崎行き(土浦線)に乗換え、江戸崎駅(バス停)下車。  
 そこから、タクシーで20分。  
 または、上り成田線在原駅からタクシーで20分。  
 <車>  
 首都圏中央連絡自動車道「稲敷」ICより車で30分。  
 または、東関東自動車道「大栄」ICより車で30分。

memo



小さな旅 ホームページ  
<http://nhk.jp/kotabi>

# 小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 174

白きたからもの  
 ～茨城県 稲敷市～

2015年1月25日(日)放送



地域つなぐれんこん料理  
 地元のお母さんたちの集まりを「ゆきさん」と言いま  
 す。いわゆる女子会です。並ぶのは、れんこん料理。名  
 人の根本とし子さん、もともとれんこん農家で、今  
 は料理を生きがいとして、地元の人たちにれんこん料  
 理をふるまっています。パーティーは、20種類ほ  
 どもあり、日々新たな料理が生まれています。根本さ  
 んの一番のおすめは、れんこんを甘辛く煮込んだ  
 「丸煮」です。

旅の見どころ 3



祖父から受け継ぐれんこん作り  
 浮島地区で最年少のれんこん農家・宮本翔太さん(2  
 2歳)は、1年ほど前かられんこん作り(トウモロコシ  
 2歳)は、1年ほど前かられんこん作り(トウモロコシ  
 作)り。氷点下の気温の中、日々、祖父の技術を習得し  
 ようと奮闘しています。「日本一のれんこんを作る」とい  
 う祖父の夢は、今、翔太さんの夢になっています。

旅の見どころ 2

霞ヶ浦の南部に面した茨城県稲敷市。  
 豊かな水に恵まれたこの地域で栽培されているのが、  
 れんこん。冬、凍りつくような水に胸までつかり、かき  
 分けながら、れんこんを掘り出ししていく様子は、まるで  
 宝探し。日本一の産地である霞ヶ浦周辺の中でも、浮島  
 地区のれんこんは、ひととき白くて甘く、「浮島れん  
 こん」と呼ばれ評判です。れんこん栽培の名人や、新たに  
 受け継ごうという若者など、れんこんを愛する人た  
 ちを訪ねる旅です。



旅の見どころ 1  
**浮島のれんこん**  
 霞ヶ浦に面した稲敷市は、豊かな土壌と水に恵ま  
 れ、古くから米作りが盛んでした。  
 しかし、減反政策が進められ、米に代わって奨励さ  
 れたのが、れんこんです。田んぼの土を深く掘り下  
 げて、やわらかい土壌を作り、肥料も工夫するなど  
 苦勞を重ねました。冬、浮島地区では、れんこんの  
 収穫が最盛期。浮島のれんこんは、白く甘みがある  
 と、評判です。地区の半分を占める広さのれんこん  
 畑では、およそ70軒の農家が、収穫にいそむ姿  
 が見られます。

